

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2002-346062(P2002-346062A)

【公開日】平成14年12月3日(2002.12.3)

【出願番号】特願2001-261857(P2001-261857)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 3 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月10日(2007.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定数の遊技媒体の発射を単位遊技とし、該単位遊技における複数の入球領域への遊技媒体の入球に関連した識別情報を表示し、該識別情報の組合せに基づき賞態様を決定する遊技機において、

遊技の制御を司る遊技制御手段と、前記識別情報の表示に関連する制御を行う表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段には、

前記識別情報を表示させるための識別情報表示コマンドを前記入球領域と対応させて記憶するコマンド記憶手段と、

前記単位遊技において前記入球領域に前記遊技媒体が入球する毎に、該入球のあった入球領域に対応する識別情報表示コマンドを前記コマンド記憶手段から読み出して、前記表示制御手段に逐一送信する識別情報表示コマンド送信手段と、

前記単位遊技において前記識別情報表示コマンド送信手段により逐一送信された識別情報表示コマンド数に基づいて全入球領域への前記遊技媒体の入球数を累計する入球数累計手段と、

当該遊技機の作動電源の供給が停止した後であって、該停止が解除され作動電源の供給が復帰した場合に、前記作動電源供給停止前に前記入球数累計手段により累計された入球数情報である入球数コマンドを前記表示制御手段に送信する入球数情報送信手段と、が備えられることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【課題を解決するための手段及び発明の効果】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、

所定数の遊技媒体の発射を単位遊技とし、該単位遊技における複数の入球領域への遊技媒体の入球に関連した識別情報を表示し、該識別情報の組合せに基づき賞態様を決定する

遊技機において、

遊技の制御を司る遊技制御手段と、前記識別情報の表示に関連する制御を行う表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段には、

前記識別情報を表示させるための識別情報表示コマンドを前記入球領域と対応させて記憶するコマンド記憶手段と、

前記単位遊技において前記入球領域に前記遊技媒体が入球する毎に、該入球のあった入球領域に対応する識別情報表示コマンドを前記コマンド記憶手段から読み出して、前記表示制御手段に逐一送信する識別情報表示コマンド送信手段と、

前記単位遊技において前記識別情報表示コマンド送信手段により逐一送信された識別情報表示コマンド数に基づいて全入球領域への前記遊技媒体の入球数を累計する入球数累計手段と、

当該遊技機の作動電源の供給が停止した後であって、該停止が解除され作動電源の供給が復帰した場合に、前記作動電源供給停止前に前記入球数累計手段により累計された入球数情報である入球数コマンドを前記表示制御手段に送信する入球数情報送信手段と、が備えられることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊技機によると、入球数累計手段により単位遊技における入球領域への入球数が累計され、例えば電断等の電源供給異常が発生した場合、その異常発生時の入球数を確認することが可能となり得る。電断復旧時には、例えば識別情報表示コマンドを送信し、その後、入球数コマンドを送信することで、異常発生時の入球数を表示制御手段も確認可能となり、該異常発生時の復旧を確実に行うことが可能となり得る。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、このような遊技機では、

所定数の遊技媒体の発射を単位遊技とし、該単位遊技における複数の入球領域への遊技媒体の入球に関連した識別情報を表示し、該識別情報の組合せに基づき賞態様を決定する遊技機において、

遊技の制御を司る遊技制御手段と、前記識別情報の表示に関連する制御を行う表示制御手段とを備え、

送信側制御部としての前記遊技制御手段から送信され単位遊技を開始するための遊技開始コマンド、前記識別情報を表示させるための識別情報表示コマンド、全入球領域への前記遊技媒体の入球数を累計する入球数累計手段にて累計された入球数に関する情報に係る入球数コマンド、前記単位遊技の終了時に全ての識別情報を非表示とするための全識別情報表示解除コマンドその他の表示制御信号を、受信側制御部としての前記表示制御手段において予め定められた時期に受信できなかった場合には、エラー検出を行うことができる。

このような遊技機によると、送信側制御部としての遊技制御手段から送信される遊技開始コマンド、識別情報表示コマンド、入球数コマンド、全識別情報表示解除コマンド等の表示制御信号（表示制御コマンド）が、受信側制御部としての表示制御手段において予め定められた時期に受信できなかった場合に、エラー検出を行うものとすることができる。

なお、遊技開始コマンドは、単位遊技の開始時に遊技制御手段から表示制御手段に送信されるものである。

具体的には、表示制御手段において上記識別情報表示コマンドを受信する前に全識別情報表示解除コマンドを受信した場合にエラー（異常）発生とすることができる。すなわち、任意の単位遊技において識別情報を表示する前に、識別情報の表示を解除するコマンドが受信されたためにエラー（異常）と判定され、この場合のエラー処理としては、例えばランプ、表示、音声等の報知手段によりエラー報知を行い、当該遊技機への電源供給を断った後、又は次回の単位遊技を正常に終了した場合に、エラーが回復されるものとされている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】